令和８年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催
～電波利用・情報通信の発展に貢献した３個人・７団体を表彰～









受賞された方々

受賞者一覧

● 北陸総合通信局長表彰【電波の日功労】

団体　（一社）日本アマチュア無線連盟北陸地方本部　殿
〃　ふくい衛星運用ネットワーク構築プロジェクト　殿

● 北陸総合通信局長表彰【情報通信月間功労】

個人　安彦　智史　殿
団体　富山市　殿
〃　若狭町　殿

●北陸情報通信協議会会長表彰

個人　瀬川　哲示　殿
〃　干場　進二　殿
団体　石川県消防学校　殿
〃　福井県立奥越明成高等学校　殿
〃　福井県立坂井高等学校　殿



金沢市内で開催した記念式典

北陸情報通信協議会（会長 金井 豊 北陸経済連合会会長）と総務省北陸総合通信局（局長 安東 高徳）は令和８年６月１日（月）、令和８年度「電波の日・情報通信月間」記念式典をホテル金沢（金沢市）で開催しました。式典には、北陸３県の放送や電波、情報通信の関係者１２７人が参列しました。

式典で、安東局長は「情報通信による地域の成長基盤づくりを引き続き全力で進めていく。今後も『北陸の元気は日本の元気』という思いで前に進んでいく」と式辞を述べ、金井会長は「産学官の連携のもと、ＡＩやＩＣＴを活用し、地域経済・社会の発展、地域住民の生活向上の活動に積極的に取り組んでいく」と挨拶しました。

続いて、来賓を代表して石川県の浅野大介副知事と、金沢市の新保博之副市長がそれぞれ祝辞を述べました。

その後、北陸総合通信局長表彰として、電波の利用や情報通信の発展に功績のあった１個人・４団体に、北陸情報通信協議会会長表彰として、北陸地域の情報通信の普及・発展等に関して功績のあった２個人・３団体に対して表彰状を授与し、その功績をたたえました。

※受賞者及び功績は北陸総合通信局の報道資料をご覧ください。
https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2026/pre260527_01.html

なお、同日に東京都内で開かれた「電波の日・情報通信月間」記念中央式典においては、臨時災害放送局「まちのラジオ」に携わる「輪島市」と「まちの復興プロジェクト実行委員会」が総務大臣表彰を受けました。

問い合わせ先：北陸情報通信協議会事務局（企画運営担当）
電話　076－233－4421